



# 人とまちがともに育つ 新たな杜の都

平成30年度 仙台市の主要事業



## 平成30年度予算のあらまし

一般会計・特別会計・企業会計を合計した市全体の予算規模は1兆791億円で、前年度比318億円減少したものの、震災以降引き続き1兆円を超える高い水準となりました。

一般会計では、子ども・子育て支援関連経費や学校建設費が増加した一方で、埋立処分場の施設整備費が減少したことなどにより、前年度比86億円減の5,390億円となりました。

また、特別会計は国民健康保険事業費の減少などにより203億円減少し、企業会計は下水道事業における復興事業の進捗に伴う工事費の減少などにより29億円減少しました。

### 歳入 市税収入は増加、繰入金金は減少

市税収入は、県費負担教職員権限移譲に伴う県から市への税源移譲等により、前年度に比べて224億円増加しました。

一方、繰入金は、復興事業の進捗に伴う東日本大震災復興交付金基金からの繰り入れの減少などにより、75億円減少しました。

### 歳出 義務的経費は増加、投資的経費は減少

【目的別の歳出】 子育て支援や障害者福祉など社会福祉に要する費用である健康福祉費は、1,917億円（35.6%）と最も大きな割合を占めました。次いで学校建設費の増加などにより教育費が931億円（17.3%）、土木費が759億円（14.1%）、公債費が569億円（10.6%）となりました。

【性質別の歳出】 人件費、社会保障給付等の扶助費、借入金の返済である公債費を合わせた義務的経費は、私立保育所運営委託費等の扶助費の増加などを受けて、前年度に比べて54億円の増加となりました。

また、投資的経費は埋立処分場の施設整備費が減少したことなどにより、前年度に比べて27億円の減少となりました。

### 「人とまちがともに育つ、新たな杜の都」の実現に向けた財政運営

本年度は、施政方針に掲げた3つの施策の柱である「人を育み、人がつながるまちづくり」・「まちを育む、活力デザイン」・「次代へつなぐ、防災環境都市推進」に重点的な予算配分を行いました。

また、「人とまちがともに育つ、新たな杜の都」の実現に向けて、地域経済の活性化による税源の涵養や公共施設の長寿命化による後年度負担の軽減、既存事業の手法見直しによる費用抑制の取り組みにより、持続可能な財政基盤の確立を目指していきます。

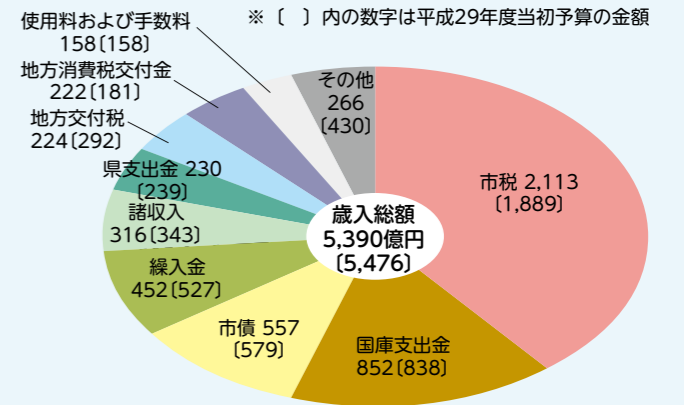
予算についてのお問い合わせは  
財政企画課 ☎214・8111、FAX262・6709、  
または市ホームページ [仙台市の財政](#)

- 一般会計**…特別会計、企業会計以外の全ての歳入・歳出を経理。行政運営の基本的な経費を計上する会計
- 特別会計**…国民健康保険や介護保険など、その事業に要する経費が保険料など特定の収入で原則賄われる会計
- 企業会計**…民間企業と同じように原則としてサービスの提供で収益を上げ、その収益で費用を賄う事業の会計。仙台市には下水道、バス、地下鉄、水道、ガス、病院の各事業があります

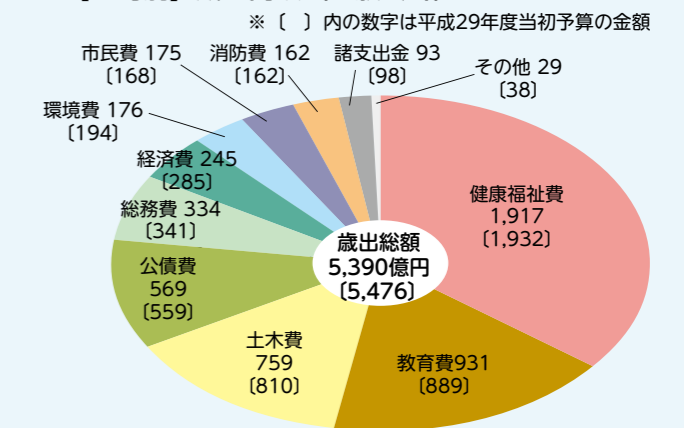
### 平成30年度の会計別の予算規模

	平成30年度（前年度比）	
一般会計	5,390億円	（86億円減少）
特別会計	3,010億円	（203億円減少）
企業会計	2,391億円	（29億円減少）
合計	1兆791億円	（318億円減少）

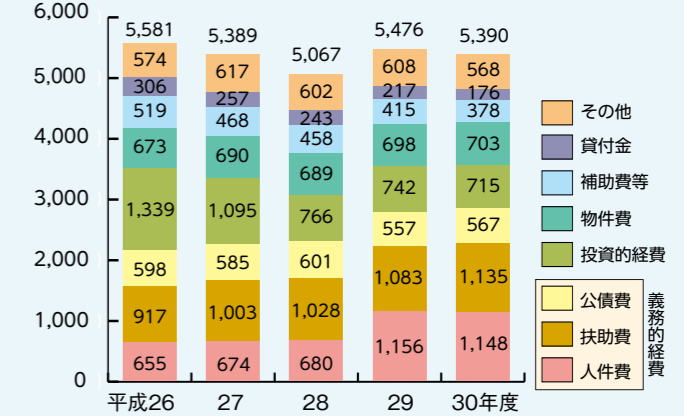
### 歳入内訳（一般会計）



### 【目的別】歳出内訳（一般会計）



### 【性質別】歳出額（一般会計）の推移







# 人とまちがともに育つ 新たな杜の都に向けて

## —平成30年度施政方針から



仙台市長  
郡 和子

新年度は、仙台市が政令指定都市としてスタートをします。30年という節目の年となります。現在我が国が直面している人口減少と高齢化は、地域や都市のあり様に開く構造的な問題であり、新たな課題解決の手法が求められています。このような状況に直面する今、このまちが立脚すべき原点を見つめ直すことが必要です。

「杜の都」は、藩祖伊達政宗公の植樹政策に端を発し、戦災から再生する中で植樹されたケヤキ並木は市民の心の拠り所となっており、そして、東日本大震災から立ち上がり、復興のシンボルとして東部地域の緑の復活に取り組んでいることも特筆すべきことです。厳しい状況の中にあっても、このまちをより美しく、より強く再生していく市民の意思と力。これこそがこのまちを支えてきた原点であると思います。

仙台の明日を拓きたいという市民の皆さまの意識を高めていくこと。人が暮らし、活躍する器とし

てのまちの姿が市民の皆さまの意思により再構築されていくこと。この二つの相互作用が、まちが輝き続ける鍵になります。

このような考えのもと、新年度の主題を「人とまちがともに育つ、新たな杜の都に向けて」と定め、108万市民の皆さまとともに、未来を指して確かな一歩を踏み出していきます。

### 人を育み、人がつながるまちづくり

子どもたちが健やかに育ち、将来への希望を膨らませることができ、環境づくりに向けて、まずは中学2年生を対象に35人以下学級を拡充します。喫緊の課題であるいじめ防止については、子供未来局に「いじめ対策推進室」を設置するほか、スクールカウンセラー等による支援体制を強化し、いじめの早期発見、早期対応につなげます。

切れ目のない子育て支援の充実に向け、産婦の健康診査への助成と併せ、心身のケアや育児指導を行う産後ケア事業を開始するとともに、特定不妊治療費の負担を軽減するため、助成を拡充します。

私立保育所等の整備など保育基盤の強化に取り組むとともに、若手職員への処遇改善など、保育従



保育基盤等の整備などにより、安心して子育てができる社会づくりを進めます

事者の資質向上、人材確保を図ります。また、アウトリーチ型の相談支援等の強化により、発達に不安を抱える就学前の児童やその家族への支援体制を整えます。

子どもの貧困対策については、放課後における小・中学生への学習・生活支援や子ども食堂への助成を行うなど、地域で子どもたちを支える機運を醸成します。

介護業界の人材不足に対して、業務の効率化やニーズに合うサービスの開発につながるようICT分野との連携を加速させます。また、障害のある方が自立した生活を送れるよう、障害特性に応じた業務の掘り起こしや事業者と求職者の相互理解を深める取り組みを強化し、就労の定着につなげます。

地域課題の解決へ向けては、支援制度や先進事例等を紹介するポータルサイトの構築に取り組み、担い手の輪を広げるほか、地域交通の確保に向け、実証実験費用の

助成など、地域での検討を実践へつなげる新たな支援を実施します。

### まちを育む、活力デザイン

都市空間形成の指針となる都市計画マスタープランの改定に着手するとともに、定禅寺通の活性化や青葉山公園の（仮称）公園センター整備事業について、関係団体や市民の参画により取り組みを推進します。

楽都の拠点となる音楽ホールの整備について検討を進めるとともに、本市のシンボルとなる市役所本庁舎の建て替えに向けた基本計画の策定に着手します。

地域経済基盤の強化は必須であり、仙台の経済成長に向けた新たな方針を定めます。多大な経済波及効果をもたらす「東北放射光施設計画」の実現に向け、独自の支援制度を創設します。本市経済の中核を成す中小企業には、外部人材の活用や、仙台ならではのプラ



昨年定禅寺通等を活用して行われたイベント「グリーン・ループ・せんだい」。都心部においてエリア特性を高めるまちづくりを公民連携で進めます

ンド構築の支援など、新たな事業展開へのチャレンジを後押しするとともに、経営者の高齢化に伴う事業承継に向けた支援を実施します。また、食品関連事業者等との連携を通じたブランド化の推進などにより、地元農産物の価値を高める取り組みを進めます。さらに、ビジネスの成長に向けた集中プログラムを実施し、東北全域への起業家輩出の流れを加速させます。

東北の魅力発信拠点の活用や東北各地の観光案内所をつなぐネットワークの拡大により、東北の観光復興を牽引します。また、パビリタリティー技術を活用した大手門などの歴史的風景の再現や仙台版図柄入りナンバープレートなどの導入など、伊達の息吹が感じられる取り組みを進めます。

### 次代へつなぐ、防災環境都市推進

震災遺構仙台市立荒浜小学校や、せんだい3・11メモリアル交流館の積極的な活用により、仙台ならではの防災の担い手づくりに取り組めます。また、震災の記憶と経験を伝える新たな拠点として、市中心部におけるメモリアル施設に関する有識者委員会を立ち上げ、検討するとともに、荒浜地区の住宅基礎群について、震災遺構とし



昨年4月の開館以来、国内外から多くの方が訪れる震災遺構仙台市立荒浜小学校

ての整備を進めます。

生活ごみの減量・分別を一層推進するとともに、事業ごみの指導啓発を充実させます。また、温室効果ガスの削減に向けて、事業者を対象としたアクションプログラムの検討に着手します。

かさ上げ道路と津波避難道路の完成を目指すほか、集団移転跡地の利活用など、東部地域に新たな活力を生み出す取り組みを推進します。また、心のケアを含む健康支援やコミュニティ活性化支援など、被災者の方々に寄り添った復興を進めていきます。

人口減少がもたらす課題への挑戦は長きにわたることとなりますが、その歩みを止めてはなりません。新年度には、仙台の新たな羅針盤となる総合計画の策定に着手します。変化が激しさを増す時代環境に対し、市民の皆さまとともに果敢に取り組んでいきます。



確かな学力育成

9億7568万円  
 少人数学習に係る講師配置や小学校高学年教科担任制の充実、「小1生活・学習サポーター」の配置など、授業や指導内容、相談機能の充実を図り、児童生徒の「確かな学力」の育成と確実な定着を図ります。



確かな学力の育成に加え、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力の育成を目指す「仙台自分づくり教育」を推進します

いじめ防止対策推進

13億4430万円  
 これまで行ってきた24時間いじめ相談専用電話に加え、SNSを活用することにより、いじめを含めたさまざまな悩みを抱える児童

生徒の相談体制を充実させます。また、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの増員など、福祉的な助言指導や、児童生徒の心のケアと教職員の指導上の課題の改善を図ります。

不登校防止対策推進

2億83万円  
 適応指導センター「児童の杜」などにおける学習・体験活動や、ひきこもり傾向のある児童生徒への家庭訪問相談援助、別室登校者への学校訪問による対応など、学校復帰や自立への支援を行います。また、外部の有識者等からなる不登校対策検討委員会において不登校対策について検討を進めます。

35人以下学級の拡充

3億801万円  
 教職員が子どもたち一人一人としっかりと向き合える体制を強化するため、35人以下学級を拡充します。平成30年度は中学2年生への拡充にかかる教職員を44人増員するほか、学級数の増加に伴う教室の整備などを実施します。

教職員の多忙化解消の推進

14億6526万円  
 教職員の多忙化を解消し、多様化する教育ニーズに的確に対応するため、校務支援システムの運用を進めるとともに、不登校学校訪問相談員や特別支援教育指導補助員等の配置などにより教育現場における人員体制の拡充を図ります。

すこやか子育てプラン推進

6億23億1888万円  
 子どもを生み育てやすい環境づくりに向けて、認可保育所の整備等保育基盤の強化を進めるほか、子育てに関する相談機能の充実を図り、子育てを地域社会全体で支える取り組みを推進します。

保育士等の人材確保推進

1億277万円  
 保育士リターンセミナーや私立保育所等就職説明会の開催、保育士等の研修参加にかかる費用の助成や若手職員の処遇改善など、従事者の人材確保、資質向上を図ります。

母子保健の充実



子育てふれあいプラザ（のびすく）に専門の相談員を配置するなど、子育てに関する相談機能を充実させます

10億30万円  
 出産後間もない時期の母子に対するサポートを強化するため、産婦の健康診査への新たな費用助成を行うほか、育児不安を抱え支援が必要な産婦に対して、医療機関等で心身のケアや育児指導を行う「産後ケア事業」を実施します。

子どもの貧困対策

1億957万円  
 放課後等の補充学習の支援や中途退学の未然防止の取り組みに加え、地域の子どもの対象とした食事の提供などを通じた子どもの居場所づくりに要する経費を助成します。

その他の主要事業

- 仙台自分づくり教育推進 7284万円
- 放課後子ども教室推進 3483万円
- 学校教育施設整備 87億781万円
- 学校支援地域本部事業推進等 4254万円
- 科学館展示リニューアル推進等 8205万円
- 図書館サービスの充実 251万円
- 市民健康づくり推進 31億8353万円
- 感染症対策 33億3562万円
- 地域福祉の推進 7億3930万円
- 介護サービス基盤整備促進 16億6175万円
- 障害者差別解消 1002万円
- 地域安全対策 8438万円
- 消費者支援 2905万円
- 杜の都の自転車プラン推進 5億1927万円
- 市民センターによる地域づくり支援 2313万円

市が取り組む重点分野と主要事業について紹介します

男女共同参画の総合的推進

6億6438万円  
 男女が互いに尊重し合い、社会のあらゆる分野で性別にかかわらず個性と能力を発揮できる社会づくりのため、男女共同参画を推進する各種事業や市民活動支援などを進めます。

介護予防・日常生活支援総合事業

30億1523万円  
 高齢者がいつまでも元気で楽しく住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、介護予防・生活支援などのサービスを提供するとともに、高齢者自らが介護予防を進めることができるよう支援します。

高齢者保健福祉の推進

51億9094万円  
 地域包括ケアシステムの構築・推進のため、高齢者の就労・社会参加促進に取り組むほか、地域支え合い活動への支援、認知症対策などを実施します。

障害者保健福祉の推進

260億3089万円  
 「共生する社会」の実現に向け、障害理解の促進と権利擁護の推進や地域生活支援体制の充実、安心



パラリンピック競技種目の体験イベントなどを通して、交流や障害理解を促進します

障害児支援の充実

41億3583万円  
 発達障害に係る医療相談など発達相談支援センターの評価体制の強化や、相談窓口等の情報を網羅したパンフレットの作成など、障害児への支援を一層充実させます。

障害者雇用マッチング強化

1442万円  
 業務掘り起こしや事業者と求職者の相互理解を深める取り組みのほか、就労の定着支援を強化することにより、一層の障害者雇用促進を図ります。

市民協働推進

4306万円  
 地域団体や市民活動団体等と市が協働して地域の課題解決や魅力

地域における協働促進

1500万円  
 向上に取り組む「市民協働事業提案制度」や、多様な主体の連携による社会的課題解決の取り組みへの助成事業を運用するとともに、協働の手引き・事例集を活用した普及啓発を行うなど、多様な主体による協働まちづくりを一層促進します。

郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト推進

5023万円  
 郊外住宅地・西部地区の持続的な発展のため、地域の担い手が自発的に取り組む実践事業および調査検証事業の補助を行います。

ふるさと底力向上プロジェクト

4529万円  
 地域の特性を踏まえ、多様化する地域課題にきめ細かく対応した地域づくりを地域団体等との協働により推進します。

※4～9ページの主要事業では、一部の事業費の中に、再掲分が含まれます  
 ※金額はいずれも1万円未満切り捨て



文化振興

4億7315万円  
「楽都<sup>がくと</sup>仙台」や「劇都仙台」の取り組みを推進するとともに、楽都の拠点となる音楽ホール等の整備検討を進めます。また、市民の主体的な文化芸術活動への支援などを通じて、都市の個性と市民の創造性を生み出す文化芸術の振興を図ります。



仙台クラシックフェスティバルの開催などにより、音楽文化の振興を図ります

定禅寺通活性化推進

5298万円  
定禅寺通において、道路空間の再構成やエリアマネジメントの導入などにより、仙台駅周辺とは違った形のにぎわいを創出し、都心

部全体の人の回遊性の向上を図ります。  
都市計画マスタープラン策定調査  
800万円  
都市づくりの基本方向や施策の方向性等を定める都市計画マスタープランについて、平成32年度末に現行計画の計画期間が完了となることから、新都市計画マスタープラン策定に向けて、現状の分析やこれまでの取り組みの評価、課題の整理などを行います。

公共交通活性化等推進

32億1381万円  
「せんだい都市交通プラン」に基づき、鉄道やバスなど公共交通を中心とした交通体系の構築とまとまりのある都市形成に取り組みます。

東西線沿線にぎわい・まちづくり推進

6億4063万円  
まちづくりを牽引する人材の育成や東西線沿線へのイベントの誘

観光振興

7億8044万円  
国内外に向けた各種情報発信や観光客の受け入れ環境の整備を進め、交流人口の拡大を目指します。また、ターゲットやテーマを明確にした戦略的なコンテンツ拡充やプロモーションを行い、誘客の促進を図ります。

伊達な魅力創出

4180万円  
バーチャルリアリティ技術による歴史的風景の再現など、「伊達な魅力」を切り口にしたまちの魅力づくりに取り組みます。

インバウンド推進

1億7223万円  
外国人観光客の誘致促進を図るため、魅力的な観光資源・滞在コンテンツや受け入れ環境を充実させるとともに、国・地域別の嗜好やニーズ等に応じた効果的なプロモーションを展開します。

コンベンション誘致

8634万円  
国内外へのPRや誘致セールスの推進、地元受け入れ体制の強化を図り、コンベンション誘致を通じた交流人口の拡大を目指します。

仙台版図柄入りナンバープレート導入推進

1460万円  
「仙台版図柄入りナンバープレート」(10月交付開始予定)の普及に向けた取り組みを行うことにより、地域のさらなる一体感の醸成や仙台の魅力発信につなげます。



仙台七夕の吹き流しや伊達政宗公等の図柄をあしらった「仙台版図柄入りナンバープレート」

東北連携推進

1億6072万円  
勾当台公園に設置した東北の魅力発信拠点を活用した情報発信や、東京オリンピック・パラリンピック参加に向けた「東北絆まつり」の首都圏プロモーションなどに取り組み、東北の各都市と連携して、東北の交流人口拡大や活性化を図ります。

農業振興

18億1599万円  
6次産業化の促進等による農業の高付加価値化・高度化を支援す

致など、沿線のにぎわいづくりや魅力向上に資する事業等に取り組み、交流人口の拡大と東西線の利用促進を図ります。また、沿線地域のまちづくりを推進することで、機能集約型の市街地形成を図ります。

国家戦略特区

2460万円  
民間事業者の経済活動等を促進するため国が指定する地域で規制緩和を行う国家戦略特区について、広報・啓発事業を通じて規制改革の機運の醸成や規制改革メニューのさらなる活用に向けた担い手の掘り起こしを行うとともに、近未来技術実証などの本市特区に関連する施策を推進します。

起業支援

1億3540万円  
「日本一起業しやすいまち」の実現に向け、起業支援施策の一層の拡充を行い、起業後の成長支援の強化や、成長志向の高い雇用創出力のある起業家の輩出に取り組みます。

るとともに、認定農業者等、地域農業の担い手の育成や経営力向上に取り組みます。また、生産基盤の確保・強化などに努め、農林業が持つ多面的機能を維持・保全し、農林業の活性化を図ります。

青葉山公園整備

1億2456万円  
仙台城跡を含む青葉山と広瀬川に囲まれた区域について、歴史的・文化的資源や優れた自然景観を生かしながら、市民や仙台を訪れた人が親しむことのできる公園として整備するため、(仮称)公園センターの設計等を進めます。



青葉山公園の拠点となる(仮称)公園センターは、市民の皆さんの意見を取り入れながら整備を進めています

市役所本庁舎建替

2660万円  
新庁舎の設計を行うための諸条件を整理した基本計画の策定に着手するとともに、敷地の測量等、今後の設計業務に向けた準備を行います。



起業家応援イベント「SENDAI for Startups (センドアイフォースタートアップス)！」の開催などにより、挑戦する風土や起業という選択肢を根付かせます

中小企業経営基盤強化

1億2697万円  
中小企業者等の経営向上に向けて、経営相談、新商品開発、販路開拓、経営革新などのさまざまな角度から、経営支援を行います。

成長産業振興

1億4931万円  
本市に集積するIT企業の成長分野(IoT、AI、AR/VR、5G等)への参入を促進するとともに、IT人材の育成・確保を支援します。また、地域の産学連携プロジェクトへの支援を通して新産業創出を図ります。

その他の主要事業

- せんだい・アート・ノード・プロジェクト 3300万円
- ミュージアム連携 361万円
- 八木山動物公園整備 1億7086万円
- 学都推進 646万円
- 文化財史跡整備推進 5億7925万円
- 百年の杜づくり推進 4億5299万円
- 経済産業政策推進 1653万円
- 中小企業人材確保・定着 4602万円
- 地域ウェルビーイング産業創出 5452万円
- 都市計画街路整備 493404万円
- 橋りょう整備 28億3160万円
- 仙山連携推進 2641万円
- 農食ビジネス推進 5877万円
- 国際姉妹都市等との交流 1530万円
- スポーツ推進 11億4199万円

※金額はいずれも1万円未満切り捨て



次代へつなぐ、防災環境都市推進

防災環境都市づくり推進

4939万円

「杜の都」の豊かな環境を生かしながら、災害に強いまちづくりを進めるとともに、本市の多様な主体による取り組みを国内外に発信し、「防災環境都市・仙台」のブランド形成を推進します。

震災復興メモリアル事業

1億7154万円

せんだい3・11メモリアル交流館や震災遺構仙台市立荒浜小学校の運営などを通して、津波の脅威や地域の記憶を後世に伝えていく



昨年、来館者が10万人を突破したせんだい3.11メモリアル交流館。校外学習での積極的な活用などにより、震災を経験していない子どもたちにも教訓を受け継ぎます

ほか、市中心部におけるメモリアル施設の整備に向けた検討や、アーカイブの整備を推進します。

防災・減災対策の推進

2億8200万円

震災の教訓を踏まえ、災害対応ドローンの整備や地域防災リーダー(SBL)の養成・支援など、地域のさまざまな自然災害などに対応した防災・減災への取り組みの充実を図ります。

ごみ減量・リサイクル推進

37億7105万円

市民・事業者との協働により、ごみの減量・分別を考え、企画・実施するPDCAサイクルの構築を図りながら、生活ごみおよび事業ごみの減量・リサイクルの取り組みを進め、資源循環都市づくりを推進します。

低炭素都市づくり等推進

6億9214万円

パリ協定を踏まえた本市の温室効果ガス削減目標の達成に向け、事業者が計画的な削減に取り組む

〔仮称〕温室効果ガス削減アクションプログラム〕の検討を進めるなど、市民・事業者・行政の共通理解と役割分担のもと、都市の社会経済活動や都市づくりの中に省エネルギー・省資源の仕組みが組み込まれた、環境負荷のより小さい持続可能な都市づくりを推進します。

被災者生活再建支援

5488万円

関係機関と連携しながら、みなし仮設住宅入居者を対象に、住まいの再建等に関する相談・支援を実施します。また、みなし仮設住宅等に入居する1人暮らしの高齢者や18歳以上の重度身体障害者等に対し、緊急時の対応機能を備えた機器を貸し出し、通報や見守り、日常会話などのサービスを提供します。

被災者の雇用促進

9881万円

産業政策の支援の対象となった事業所や中小企業等が被災者を雇い入れた場合に費用の一部を支給

海岸公園整備

2億4960万円

震災の津波により被害を受けた海岸公園について、復興のシンボルとなる公園として来園者がより安全で快適に利用できるような整備を進めます。平成30年度は、荒浜地区パークゴルフ場の拡張に係る測量・設計・用地取得や蒲生地区のトイレ増設に係る設計を行います。

六郷東部地区現地再建まちづくり

4014万円

六郷東部地区の活性化に向け、専門家を派遣することで地域主体の活動を支援します。また、東六郷小学校跡地を地域コミュニティの拠点として整備するため、実施設計および必要な調査等を行います。

東部地域移転跡地利活用推進

16億3421万円

防災集団移転後の5地区(南蒲生、新浜、荒浜、井土、藤塚)の跡地について、市民・事業者など民間が自由な発想で自ら取り組む新たな土地利用を進めます。また、震災の記憶を継承するため、震災遺構として、荒浜地区の防災集団



集団移転跡地の利活用や産業集積など、東部沿岸地域に新たな活力を生み出す取り組みを推し進めます

蒲生北部地区復興再整備

43億7971万円

津波で甚大な被害を受けた蒲生北部地区について、土地区画整理事業により、防災集団移転後の土地の整理集約と業務系土地利用を

移転跡地に残る住宅基礎の保存を進めます。

前提とした都市基盤の再整備を行います。

東部復興道路整備

101億1427万円

東部地域の再生に向けて、主要な幹線道路である県道塩釜亘理線などの道路について、津波堆積土砂などを活用したかさ上げにより堤防機能を付加し、津波による被害の軽減を図ります。平成30年度は、継続して、全路線での盛土工事等を実施します。

津波避難道路整備

7億7108万円

地域の拠点や主要施設、市街地を結ぶ幹線道路について、津波が発生した際に、自動車等による避難にも配慮した整備を行います。

未来に責任を持つ都市経営

公共施設等マネジメントの推進

174億1893万円

高度成長期や政令指定都市移行期に整備した数多くの公共施設が更新時期を迎える中、限りある資源を有効に活用する経営的な視点を持ち、中長期的視点に立った施設整備や維持管理を行うなど、安

心して利用できる公共施設の持続的な提供に向けた取り組みを推進します。

総合計画の推進

4256万円

総合計画について、改定に向けた取り組みを進めるとともに、市民と理念を共有し共にまちづくりを進めるため、適切な進行管理と評価等を行います。

その他の主要事業

- 消防力の整備 34億9503万円
- 救急体制整備 3億4830万円
- 民間建築物耐震化等促進 3億5147万円
- 生物多様性保全推進 276万円
- 被災者の健康支援 2770万円
- 復興まちづくり等に向けた町内会等支援 568万円
- 津波被災地域住宅再建支援 5220万円
- 仙台港周辺地区復興支援 2564万円
- 農業生産基盤整備 3億8931万円

その他の主要事業

- 市税等の収納率向上対策 1億3329万円
- 人材育成機能・組織力の強化 2127万円
- 公文書館整備 1135万円

平成30年度の予算については、仙台市ホームページ(サイト内検索で「仙台市の財政」と検索)をご覧ください

※金額はいずれも1万円未満切り捨て



海岸公園内海岸防災林の植樹・育樹など、市民や関係団体等が力を合わせて東部地域のみどりの再生に取り組みます

する「仙台市事業復興型雇用創出助成金」などにより、被災地域において安定的な雇用を創出します。

ふるさとの杜再生プロジェクト

3112万円

震災により甚大な被害を受けた東部地域のみどりの再生に向けて、市民・NPO・企業等の協働により、「杜の都・仙台」の復興のシンボルとなる新たなみどりを育む取り組みを継続的に進めていきます。平成30年度は、海岸公園内の防災林等の市民植樹・育樹を実施します。




# 各区内の主要事業

## 青葉区

**区民協働まちづくり事業**  
 区民の皆さんや地域団体などとの協働によりまちづくりを進めます。「青葉区民まつり」、「宮城地区まつり」など各種イベントを企画・開催するほか、地域のコミュニティ活性化、子育て、防災等の地域課題に取り組みまちづくり活動への助成を行います。また、マンションのコミュニティ形成の促進に向けた取り組みを進めます。

**ふるさと底力向上プロジェクト**  
 ▼まちづくり活動助成事業として実施されたクリスマスロード商店街の防災訓練



▲区民が主体となって運営され、幅広い世代が参加する「青葉区民まつり」

し、地域団体等の創意工夫によって、地域活性化を図る取り組みを支援します。(荒巻包括ケアシステムモデル事業、中山郊外居住モデルプロジェクト、仙台萬本さくらプロジェクト、作並・新川地区活性化事業)

**学校教育施設整備**  
 錦ヶ丘中学校の校舎等新築工事を行います。

**(仮称)東二番丁マイスクール児童館整備**  
 大沢市民センター大規模修繕

**台原コミュニティ・センター大規模修繕**  
 特別養護老人ホーム建設費補助(広瀬中学校区・南吉成中学校区)

**仙台駅西口駅前広場再整備**  
 バス乗降場の再編や交通機関相互の乗り継ぎ利便性の向上を図るため、駅前広場の整備を行います。

**定禅寺通活性化推進**  
 定禅寺通のにぎわいを創出し、都心部全体の活性化に向けた検討等を行います。

**道路整備**  
 茶屋町山屋敷線、高畑定義線、青葉山線、秋保温泉愛子線等の整備を行います。

**橋りょう整備**  
 通町歩道橋、倉内橋等の補修工事を行います。

**公園整備**  
 青葉山公園、西公園、中山台西公園等の整備を行います。


## 宮城野区

**区民協働まちづくり事業**  
 区民の皆さんと協働でまちづくりを進めるため、「みやぎのまつり」など、各種イベント等を企画・開催します。また、子育て、防災、地域の魅力発信など幅広い分野での取り組みや公募によるまちづくり活動への助成を行います。

**ふるさと底力向上プロジェクト**  
 高齢化に伴う諸課題に対応するため、鶴ヶ谷地区をモデル地区とし、世代や分野を超えた連携拡大の仕組みを導入し、地域活動力の向上を支援します。

**被災者交流支援事業**  
 復興公営住宅入居者等のコミュニティ運営を支援するほか、地域団体等が行う被災者交流活動に対して公募による助成を行います。

**海辺のふる里づくり支援**  
 津波被災地域において、コミュニティ再生と地域の活性化を目指し、町内会等が行う活動を支援します。



ステージ発表、露店、ブース展示など区民主体の手づくりによる「みやぎのまつり」

浦生北部地区復興再整備  
 浦生北部地区において土地区画整理事業等を実施します。

**学校教育施設整備**  
 燕沢小学校、鶴谷中学校の校舎大規模改修工事を行います。

**特別養護老人ホーム建設費補助(西山中学校区)**  
 幸町市民センター大規模修繕設計

**東仙台コミュニティ・センター大規模修繕および鶴巻コミュニティ・センター大規模修繕設計**  
**(仮称)中心部救急出張所整備**  
**市営住宅建設**  
 鶴ヶ谷第二市営住宅団地再整備を進めます。

**下水道浸水対策**  
 鶴巻ポンプ場等の整備を行います。

**道路整備**  
 東部復興道路のほか、元寺小路福室線、鍋沼線等の整備を行います。


**橋りょう整備**  
 宮城野大橋等の補修工事を行います。

**公園整備**  
 海岸公園、榴岡公園、高砂中央公園等の整備を行います。

## 若林区

**区民協働まちづくり事業**  
 区民の創造性と意欲を生かした魅力ある若林区を目指し、「若林区民ふるさとまつり」、「合唱のつどい」を企画・開催するほか、六・七郷堀の魅力発信などを区民協働で行います。また、市民団体が実施するまちづくり活動を公募し助成を行います。

**ふるさと底力向上プロジェクト**  
 六郷東部現地再建まちづくり支援として、東六郷小学校跡地利活用の検討を進めるとともに、交流事業等の地域活動を支援し、地域活性化を促進します。



昨年、東六郷コミュニティ・センターで初めて開催された六郷東部ふるさと交流祭

**震災の記憶と経験の継承**  
 津波被災地の六郷・七郷地域を訪ね、被災された方々の体験を伺い、震災の記憶を風化させない取り組みを行います。

**被災者交流支援事業**  
 復興公営住宅入居者等のコミュニティ運営や交流に向けた支援を行うほか、地域団体等が行う被災者交流活動に対して公募による助成を行います。

**区役所と薬師堂駅をつないだにぎわい創出**  
 薬師高砂堀通りを活用したにぎわい創出に取り組みとともに、区役所等利用者の安全性・利便性の確保や、駅へのアクセス向上に向けた整備を行います。

**学校教育施設整備**  
 大和小学校の校舎等増改築設計、荒井小学校の校舎等新築工事を行います。

**(仮称)七郷第二児童館建設**  
**若林市民センター大規模修繕設計**  
**南材コミュニティ・センター大規模修繕**  
**道路整備**  
 東部復興道路のほか、卸町大和町(その2)線外2線等の整備を行います。


**橋りょう整備**  
 六丁の目第1歩道橋および東橋等の補修工事を行います。

**公園整備**  
 海岸公園、荒井東1号公園等の整備を行います。

## 太白区

**区民協働まちづくり事業**  
 「太白区民まつり」や小学生の体験学習事業、区内の自然・歴史を探访する事業などを企画・開催します。また、公募によるまちづくり活動への助成など、まちづくり活動に取り組み団体を支援します。

**ふるさと底力向上プロジェクト**  
 生出・坪沼地区の活性化支援を引き続き行うほか、秋保地区で新たな体験型観光を創出するなど、西部中山間地の活性化と地域力の向上に努めます。



「太白区民まつり」のステージ発表

**被災者交流支援事業**  
 町内会等が行う被災者交流活動に対して、公募による助成を行います。

**郡山遺跡整備**  
 史跡地の公有化と史跡公園としての整備を推進します。

**学校教育施設整備**  
 大野田小学校の校舎増築等工事や、金剛沢小学校および八木山中学校の校舎大規模改修工事を行います。

**西多賀児童館改築**  
**西多賀市民センター改築工事**  
**および茂庭台市民センター大規模修繕**  
**向山コミュニティ・センター大規模修繕、郡山コミュニティ・センターおよび太白コミュニティ・センター大規模修繕設計**  
**特別養護老人ホーム建設費補助(茂庭台中学校区)**  
**下水道浸水対策**  
 四郎丸地区の浸水対策を行います。

**道路整備**  
 郡山折立線、長町3号線外1線、袋原平淵線、仙台山寺線等の整備を行います。

**橋りょう整備**  
 熊野宮橋の整備や、太白大橋、金洗沢橋、仙台山寺線1号橋等の補修工事を行います。

**公園整備**  
 富沢駅東2号公園等の整備を行います。

**八木山動物公園整備**

## 泉区


**区民協働まちづくり事業**  
 区民の皆さんと協働でまちづくりを進めるため、世代間交流の促進やふるさと意識を育てる「泉区民ふるさとまつり」、「七北田川クリーン運動」、「泉ヶ岳悠・遊フェスティバル」等を行います。また、地域と大学が連携して地域課題の解決を図っていく「いずみ絆プロジェクト支援事業」や「大学地域連携による課題解決事業」を行うほか、地域の特色を生かし、区民の皆さんが自主的に取り組むまちづくり活動への助成を行います。

**ふるさと底力向上プロジェクト**  
 高齢化が進む郊外居住地区における地域活動の継続に向けた情報共有や人材育成を進めるほか、市民協働で課題解決を検討する取り組みへの支援を行います。また、泉西部地区の豊かな自然や歴史、文化を生かした体験プログラムや誘客に向けた情報発信を実施し、魅力あるまちづくりと地域の活性化を図ります。

**泉ヶ丘コミュニティ・センター大規模修繕および北中山コミュニティ・センター大規模修繕設計**  
**特別養護老人ホーム建設費補助(南光台中学校区)**  
**道路整備**  
 宮沢根白石線、南前町線等の整備を行います。


**橋りょう整備**  
 古屋敷橋、高柳4号橋の整備を行います。

**公園整備**  
 泉中央公園等の整備を行います。



▲七北田川クリーン運動の一環として開催された「七北田川自然観察会」

▼花火大会など、大勢の人でにぎわう夏の風物詩「泉区民ふるさとまつり」



泉西部の根白石地区にある、伊達政宗公も訪れたといわれる寺院で行われた座禅体験